

福井労働局管内のハローワークの主要指標の実績と総合評価結果

- ハローワークの機能強化を図るため、平成27年度より「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」を実施。
- 労働市場の状況や業務量が同程度の全国のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価を行い「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」及び「成果向上のため計画的な取組が必要」の4段階で評価。
- 福井労働局管内の各ハローワークの令和元年度の主要指標（就職件数・充足件数・雇用保険受給者の早期再就職件数）の実績は、以下のとおりです。

ハローワーク	①就職件数（※1） （常用）				②充足件数（※2） （常用、受理地ベース）				③雇用保険受給者の 早期再就職件数（※3）				令和元年度 総合評価 結果
	目標	3月実績	年度累計	目標達成率	目標	3月実績	年度累計	目標達成率	目標	3月実績	年度累計	目標達成率	
福井	5,450	712	5,595	102.7%	5,968	825	6,323	105.9%	1,582	126	1,725	109.0%	良好な結果
武生	3,064	312	3,065	100.0%	2,848	272	2,737	96.1%	897	57	998	111.3%	標準的な成果
大野	1,108	121	1,080	97.5%	887	92	864	97.4%	310	48	339	109.4%	標準的な成果
三国	1,430	130	1,497	104.7%	1,614	118	1,537	95.2%	455	39	525	115.4%	標準的な成果
敦賀	1,492	110	1,426	95.6%	1,376	107	1,314	95.5%	327	19	323	98.8%	標準的な成果
小浜	911	89	975	107.0%	880	80	847	96.3%	205	10	242	118.0%	良好な結果
福井労働局	13,455	1,474	13,638	101.4%	13,573	1,494	13,622	100.4%	3,776	299	4,152	110.0%	—

※1 就職件数(常用)は、ハローワークの職業紹介(オンラインハローワーク紹介を含む)により常用就職した件数です。

※2 充足件数(常用)は、ハローワークの常用求人(受理地ベース)の充足件数(オンラインハローワーク紹介及びオンライン自主応募による充足を含む)です。

※3 雇用保険受給者の早期再就職件数は、基本手当の所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数です。統計の都合上1か月遅れで集計されます。

就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

【1 ハローワーク福井】

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び求人の充足件数の目標達成を最重要と捉え、求職者担当者制の実施や求人情報の提供、ミニ面接会の開催等のマッチング支援に積極的に取り組んだほか、庁舎玄関の掲示板に来所者の目に留まりやすいよう、求人票と事業所内の画像情報等をセットにした求人画像情報コーナーを設置し、求人内容のPRに努めました。また、求人充足対策として、毎週、関係職員による求人充足ミーティングを開催し、求人充足に向け、求人内容の検討やマッチング支援等を行いました。

その他、管内市町（福井市・永平寺町）とは、雇用対策協定を締結のうえ、UIターン支援や子育て中の女性等の就職支援に連携して取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員全員を対象に、専門性の向上や知識の付与を図ることを目的として、四半期毎に集合研修を実施したほか、仕事内容の理解や事業所情報の蓄積等を図るため、積極的に事業所訪問を行いました。また、マッチングによる情報提供件数や紹介件数、就職件数を自ら把握・管理し、管理者に報告させるとともに、必要に応じて管理者から助言等を行うことにより、職業紹介に関する手法の精度の向上に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークにおける支援内容の周知や本年1月から刷新された端末の操作案内等を確実にを行うため、総合案内を2人体制とし、来所者の利用目的を的確に把握するとともに、専門コーナーを含む窓口への円滑な誘導や端末での求人検索方法の説明、求人情報誌の配布、セミナーの案内等を行うなど、利用者サービスの向上に努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者ニーズが多様化する中、当該ニーズを踏まえた求人の確保に努めるとともに、早期の再就職を希望する方や高齢者、就職氷河期世代の方、人手不足分野の医療・福祉、建設、警備、運輸の各分野を希望する方等を対象とする各専門コーナーにおいて、担当職員の専門性の向上に努めるとともに、求職者一人ひとりに寄り添った支援を行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響から、新しい生活様式に則った業務運営が必要であることから、セミナーや面接会をはじめとした従来の業務運営の手法について精査していくとともに、これまで以上に丁寧な接遇に努めます。また、雇用情勢について、状況を注視し、時宜に応じた対応を図ります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じような全国ハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	全ハローワーク共通の評価指標					所重点指標 ※2				
	主要指標			補助指標		(地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標)				
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	人材不足分野 の就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職件 数
目標	5,450	5,968	1,582	39.5%	60.2%	355	19,310	2,784	1,122	94
実績	5,595	6,323	1,725	41.2%	59.9%	359	18,852	2,844	1,258	102
目標達成率 ※1	102.7%	105.9%	109.0%	104.3%	99.5%	101.1%	97.6%	102.2%	112.1%	108.5%

※1 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※2 「所重点指標」は、所の業務指数等により選択項目数が定められている。

就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

【2 ハローワーク武生】

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、重点的に取り組みました。雇用保険受給者説明会から初回講習会を分離した「スタートアップセミナー」を新たに開催し、就職意欲の喚起を図るなど、より効果的な支援を行いました。また、当該セミナー終了後、人材確保が困難な職業分野への関心を高めるため、事業所に講師を依頼し「業界説明会」を開催し、さらにミニ面接会の提案、参加を促すことで、一定の成果を上げました。その他、認定日の全員相談や積極的な求人情報の提供等に取り組んだ結果、就職件数、雇用保険受給者の早期再就職件数ともに年間目標数を達成することができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

令和2年1月からのハローワークシステム刷新に伴い、6月には刷新の概要について研修を行い、また、9月にはブロック研修後の伝達研修を実施しました。その後、各課部門の代表者による「システム刷新チーム」を設置し、課題解決に向け会議を重ね、その内容を全職員にフィードバックし、資質の向上に努めました。

また、キャリアコンサルティングの基礎の習得と試験の概要について、資格所持者が講師となり、11月に「キャリアコンサルティング所内基礎研修」を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人票と画像情報をセットにして掲示する「ビジュアル求人」コーナー、「60歳以上専用ビジュアル求人」コーナーの拡充を図り、求職者により詳細な情報の提供に取り組みました。また、シニア向け求人開拓やシニア向け求人情報、60歳以上専用求人情報の提供を拡充し、マッチングの強化に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

米中貿易摩擦による影響を端緒とし、加えて新型コロナウイルス感染症の影響により、管内主要産業である製造業をはじめ幅広い業種の求人数の大幅な減少が続いています。こうした状況に対して、求人量の確保を図ることが最重要課題であると考えています。そのため、文書・電話等による求人開拓を積極的に行います。

また、コロナ禍においても可能となれば、担当職員等による事業所訪問、職場見学、求人担当者制のペアでの事業所訪問の拡充を図るとともに、求人票記載内容以上の事業所情報の収集及び提供に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

該当事案なし。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※業務量や業務の特徴などが同じような全国ハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	全ハローワーク共通の評価指標					所重点指標 ※2				
	主要指標					(地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標)				
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサポ ーターの支援に よる正社員就職 件数	マザーズハローワーク 事業における重 点支援対象者 の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数	
目標	3,064	2,848	897	40.1%	61.1%	185	92.7%	7,739	1,493	
実績	3,065	2,737	998	39.8%	57.8%	244	96.3%	7,261	1,571	
目標達成率 ※1	100.0%	96.1%	111.3%	99.3%	94.6%	131.9%	103.9%	93.8%	105.2%	

※1 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※2 「所重点指標」は、所の業務指数等により選択項目数が定められている。

就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

【3 ハローワーク大野】

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、雇用失業情勢の改善のために、主要3指標を中心に業務を推進してきました。

就職件数については、目標1,108件に対し実績1,080件と目標達成に若干届いていませんでしたが、傾聴に心がけた職業相談を実施し、阻害要因の把握に努め、各種就職支援サービスを実施しました。

充足件数については、目標887件に対し実績864件と目標に23件届きませんでした。求人係と紹介係が連携を図り、定期的な求人充足会議の実施の他、事業所訪問時や求人受理時に得た情報を毎日のミーティングで情報共有し就職支援を実施しました。

早期再就職件数については、早期のマッチングを中心とした就職支援を実施し、目標310件に対し339件と目標達成できました。

補助指標については、目標に対し、求人に対する紹介率は2.6ポイント、求職者に対する紹介率は1ポイント届きませんでした。来所勧奨や求職者担当制の取組み、所内連携を図っての求人充足会議により紹介率の拡大に努め就職支援を実施しました。

以上の取り組みを、令和2年度についても改善を図りながら継続して実施していきます。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の中長期的資質向上に向けて、業務に必要な不可欠な事項については、計画的に研修を実施するとともに、局主催の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に向けた取り組みを実施しました。また、日程を定めた研修とあわせて、日々窓口で起こっている小さな事象を逃さず、OJTを主とした即効性のある研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人材不足分野における就職支援において、求人受理時に求人者から直接確認した求人条件等の情報について紹介部門と情報を共有することにより、的確なマッチングに努めました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

各項目の目標達成率のうち、求人に対する紹介率が低い傾向から、人材不足分野における就職支援を中心とし、紹介部門によるマッチングと併せて、求人受理を行った求人部門職員が求人者から直接確認した求人条件等の情報を紹介部門と共有するなど連携を密にし、マッチングを行いました。

(4) その他業務運営についての分析等

基本業務の徹底と、傾聴に心がけた相談を実施することにより阻害要因を把握し、適切な就職支援および来所者目線での業務を推進していきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じような全国ハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	全ハローワーク共通の評価指標					所重点指標 ※2 (地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標)				
	主要指標			補助指標		障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数		
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率					
目標	1,108	887	310	29.1%	60.4%	71	2,627	512		
実績	1,080	864	339	26.5%	59.4%	72	2,623	504		
目標達成率 ※1	97.5%	97.4%	109.4%	91.1%	98.3%	101.4%	99.8%	98.4%		

※1 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※2 「所重点指標」は、所の業務指数等により選択項目数が定められている。

就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

【4 ハローワーク三国】

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

〔就職件数に係る取組（マッチングの強化）〕

求職者担当制・・職員1人あたり毎月3名以上の早期再就職を希望する求職者に対し、6件以上の求人情報提供を行った結果、求職者担当制の前年度就職率を上回りました。

〔充足件数に係る取組〕

求人充足会議・・毎週開催する求人充足会議において、支援対象求人に対する支援策を検討し、輪番制による担当者がマッチングを行い、早期充足の促進を図りました。

〔雇用保険受給者の早期再就職件数に係る取組〕

担当制によるマッチング・・就職意欲の高い雇用保険受給者に対し認定日前に求人情報提供するとともに、認定日には、受給者の方全員と相談をしています。その際、提供した求人情報について応募希望の有無や応募希望しない場合の理由などの確認を行い、次の情報提供などの就職支援に繋げることにより、早期再就職の促進に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・ 四半期毎に職員のスキルアップ向上のため、雇用保険業務・助成金業務研修を行いました。
- ・ 毎週開催の職業相談部門内ミーティングにおいて、意見交換及び事例検討・情報交換を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の早期再就職促進を図るため、①認定日ごとに担当を決めて認定日前に求人情報提供を行い、認定日に相談窓口に来窓した際には、提供した求人情報の応募希望の有無を確認しました。②雇用保険説明会と初回講習会（「ハロ活応援セミナー」）を別日開催とし、ハロ活応援セミナーの時間を利用して人手不足分野を中心とした企業説明会を実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ハローワークシステム刷新に伴い、ハローワークの相談窓口の利用方法及びパソコンの使用が困難な求職者への求人情報提供の在り方を見直す必要があると考えられることから、高年齢者向け求人情報を一新するとともに、来所者に対する職業相談窓口への積極的な呼びかけの方法について検討します。
- ・主要指標のうち充足件数が目標に達しなかったことから、求人充足フォローの強化を図るため、求人充足会議の対象となった事業所を訪問するなど充足取組の強化を図ります。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、求人が大幅に減少していることから、今後は多数の求人を開拓するため、職業相談部門と事業所・専門援助部門の連携強化を図る必要があります。具体的には、過去に求人をしてきた事業所に対して、求人要請チラシの送付及び採用意向アンケートを実施するほか、求人充足会議において紹介担当者が相談窓口で得た求職者ニーズの情報を求人部門と情報共有することにより、求人開拓や求人条件緩和等の相談・アドバイスを行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・週1回職業相談部門内ミーティングを開催し、日頃の業務の意見交換を行いました。
- ・採否結果の分析結果を職業紹介担当職員全員が共有することにより、担当職員の知見とマッチング能力の向上を図りました。
- ・1ヵ月ごとの業務の進捗状況について全職員と情報共有し、業務改善に向けての検証を行いました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じような全国ハローワークとの比較による評価

3 特記事項

当所では、主要指標の就職件数の目標達成のため、多方面からのマッチングを強化することで、就職件数の目標を達成しました。

また、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成のため、受給資格決定後速やかにハロ活応援セミナーを開催し、早期再就職のメリットの周知を図り、ミニ求人企業説明会を同時開催することで職業選択の機会を設け、就職意欲の喚起を図った結果、雇用保険受給者の早期再就職件数は目標を大幅に上回りました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	全ハローワーク共通の評価指標					所重点指標 ※2				
	主要指標			補助指標		(地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標)				
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数		
目標	1,430	1,614	455	34.8%	64.7%	93	4,471	687		
実績	1,497	1,537	525	33.4%	63.9%	108	3,962	686		
目標達成率 ※1	104.7%	95.2%	115.4%	96.0%	98.8%	116.1%	88.6%	99.9%		

※1 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※2 「所重点指標」は、所の業務指数等により選択項目数が定められている。

就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

【5 ハローワーク敦賀】

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、求職者の方が減少傾向にある反面、介護・医療・保育・建設・警備・運輸部門等の人手不足分野を始めとして、求人件数は増加していることから、求人事業所の人材確保を最重要と考え、求人事業所に対して業界説明会・ミニ面接会等の提案を行い、求職者の方との接触できる機会の増加を図る取り組みを重点的に行いました。特に業界説明会・ミニ面接会は年間で39回開催し、求人事業所から「また参加したい」「次回の予約をしたい」との評価を得ています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

キャリアコンサルティング研修に職員を送り出し、職員個人のスキルアップを図りました。

また、各担当業務別の所内研修や職員による求人事業所訪問を実施し、所全体の資質向上を図りました。

加えて、敦賀市の職員の方を講師として「敦賀市諸施策研修会」を開催し、地方行政を理解したうえで連携を図る取り組みを行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人説明会・ミニ面接会は不定期に開催していましたが、求職者の方に対して利便性が良くなかったため、実施方法を変更し、①60歳以上、②介護・医療・保育分野、③建設・警備・運輸分野、と目的別に分別し、毎週開催することにより求職者の方が参加し易くなるように改善を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

近年、新規求職者の方の数は減少傾向が続いており、その中でいかにハローワークを利用し、より多くの方がハローワークを介して就職されるかが当所としての課題と言えます。そのために求職者の方のスキルアップにつながるような職業訓練セミナーの開催及び職業訓練へのあっせん、また、採用選考に対しての応募書類作成及び面接への助言、事業所・職種・業種についての助言等、求職者の方の状況に合わせた丁寧な求職者支援に取り組めます。

(4) その他業務運営についての分析等

年度末にかけて新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業活動の休業や求人事業所の採用活動の様子見感があり、管内の求人事業所の採用意欲や求職者の方の就職への意欲が停滞気味になったものと思われま

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じような全国ハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	全ハローワーク共通の評価指標					所重点指標 ※2 (地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標)				
	主要指標			補助指標		障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数		
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率					
目標	1,492	1,376	327	36.2%	59.3%	79	4,394	565		
実績	1,426	1,314	323	32.5%	55.4%	83	4,428	550		
目標達成率 ※1	95.6%	95.5%	98.8%	89.8%	93.4%	105.1%	100.8%	97.3%		

※1 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※2 「所重点指標」は、所の業務指数等により選択項目数が定められている。

就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

【6 ハローワーク小浜】

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

雇用保険受給者の早期再就職促進を当所の重点課題とし、職業相談時におけるキャリアコンサルティングの実施、初回認定日での就職希望条件の再確認の徹底や求人情報等の積極的な情報提供を行うとともに、面接に不安を持つ求職者を対象とした模擬面接を積極的に開催することにより主な目標設定項目である「雇用保険受給者の早期再就職件数」については目標を達成しました。

また、管内事業所について、人材不足分野等を対象としたミニ選考会を積極的に開催し、求人充足対策に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、ハローワークの職業相談等において必要とされる技能・知識に係る内容について、研修を年5回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の減少等に伴い、求人倍率が高水準で推移しており、求人充足に向けた取組みも課題となっていることから、「ジャスト求人マッチング（J KM）サービス」と題した取組みにより職業紹介担当職員による積極的なマッチングを実施しました。

また、求職者ニーズの詳細な把握により、的確なマッチングや求人条件の緩和、正社員求人に対する積極的なマッチングに努めた結果、就職件数に加え、正規雇用フリーター等の就職件数及び正社員就職件数についても目標を大きく上回りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大により、離転職を控える傾向や感染防止のため外出を控えるなどにより、求職活動を控える傾向が続いています。

そのような方々に就職支援を行うため、年度前期にはできなかった来所勧奨による職業相談・紹介等を積極的に行い、求職者サービスの向上に努めるとともに、仕事探しの選択肢を広げるために、良質求人の確保や求人条件緩和についても、事業所訪問等により積極的に行います。

(4) その他業務運営についての分析等

当所では就職件数に比べ充足件数が少なく、令和元年度はその乖離が一段と大きくなったため、求人者に対して求人条件緩和を提案するなどにより、就職件数と充足件数の乖離が小さくなるよう努めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じような全国ハローワークとの比較による評価

3 特記事項

令和2年3月よりホームページに求人情報（一般、パートの2種類）を月2回掲載し、ハローワークインターネットサービスの活用に加えて求人情報提供の手段を増やし、サービスの向上に努めています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度の前期はできなかった来所勧奨型職業紹介、事業所訪問による良質求人確保や求人条件の緩和を積極的に行い、職業紹介業務の積極的な推進に努めます。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	全ハローワーク共通の評価指標					所重点指標 ※2				
	主要指標			補助指標		(地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標)				
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワーク紹介の 正規雇用フリーター 等の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数		
目標	911	880	205	36.8%	63.0%	67	2,560	361		
実績	975	847	242	36.0%	59.9%	80	2,253	371		
目標達成率 ※1	107.0%	96.3%	118.0%	97.8%	95.1%	119.4%	88.0%	102.8%		

※1 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※2 「所重点指標」は、所の業務指数等により選択項目数が定められている。